

平成 21 年度 第 99 回 教育研究審議会議事要録

日時 平成 21 年 5 月 26 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 30
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 矢田学長、近藤副学長、松藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、伊藤外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、晴山都市政策研究所長、田村(慶)学術情報総合センター長、田部井学生部長、木原国際教育交流センター長、田村(大)入試広報センター長、隈本学術情報総合センター副センター長、上江洲地域貢献室副室長

配布資料

- 1 欠員補充申請書・教員採用申請書 (基盤教育センター)
- 2 ボランティアセンター設置準備委員会の設置について
- 3-1 認証評価自己評価書 各基準等の字数について
- 3-2 認証評価自己評価書 第 3 次案
- 3-3 選択的事項に係る自己評価書 第 3 次案
- 4 平成 21 年度情報セキュリティ体制
- 5 平成 22 年度入学試験スケジュール
- 6-1 新型インフルエンザへの対応について (第 5 報)
- 6-2 新型インフルエンザへの対応について (第 4 報)
- 7 人権・ハラスメント研修会の実施について

第 1 号 教員の採用について

* 資料 1 のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、平成 22 年 3 月 31 日付けで定年退職する亀山徳彦教授の後任として、脳科学または遺伝子学担当教員 1 名の欠員補充について提案。

担当分野が脳科学または遺伝子学と幅広くなっているが、どのような採用方針なのか。

基盤教育センター教養教育部門は、現在、人間観を学ぶ上で後天的な文化系専門の教員が多いため、先天的な自然科学系の教員が必要と考えた。脳科学または遺伝子学いずれかによる応募者の中から適任者を採用したい。

現在、亀山教授が担当している「地球の生い立ち」は誰が担当するのか。

当科目は非常勤講師が担当し、現在、非常勤講師担当による「自然学のまなざし(夜間主)」を、後任者が担当する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料 1 のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、異文化言語(英語)教育担当教員 1 ~ 2 名の学内公募について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第 2 号 ボランティアセンター設置準備委員会の設置について

* 資料 2 のとおり、ボランティアセンター設置準備委員会の設置について提案。

ボランティアセンターは、キャリアセンター等と同じ位置づけの教職員を擁する組織となるのか。組織の肥大化につながるので、コスト等に対する全学的な戦略について、教育研究審議会での議論が必要ではないか。

コストも含め、今後、設置準備委員会が検討していく。

文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム（教育 GP）」選定の「地域密着型環境教育プログラムの戦略的展開」では、地域貢献ボランティアが一つの柱となっている。当取組とボランティアセンターがうまくリンクすることを期待したい。

検討期間については、教育委員会との連携協定事業が始まる10月までを目途としている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 認証評価について

* 認証評価に係る自己評価書（第3次案）について、資料3-2から資料3-3のとおり提案。また、自己評価書の字数制限について、資料3-1のとおり説明。

各学部等で内容を確認し、意見があれば5月末までに経営企画課へ提出してもらいたい。

今後は、教育研究審議会及び経営審議会です承を得た後、6月に大学評価・学位授与機構に自己評価書を提出し、訪問調査等を経て来年3月に評価結果が示される予定である。

【議長】6月9日の教育研究審議会で決定することよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

平成21年度情報セキュリティ体制について、資料4のとおり報告があった。

平成22年度入学試験スケジュールについて、資料5のとおり報告があった。

新型インフルエンザへの対応について、資料6-1及び資料6-2のとおり報告があった。

人権・ハラスメント研修会の実施について、資料7のとおり報告があった。

次回の審議회를6月9日（火）に開催する予定である旨、報告があった。